



由布市 議会だより

No. **55**
2019年
8月号



令和元年6月22日・第72回大分県民体育大会の議員ソフトボール競技に出場

Contents

●令和元年第2回定例会概要	1
●議案質疑	2
●常任委員会報告	2~4
●一般質問 市政を問う	5~11
●議会研修報告、第72回大分県民体育大会議員ソフトボール競技結果報告	12
●由布大分環境衛生組合議会報告、請願・陳情の結果	裏表紙



令和元年第2回由布市議会定例会概要

令和元年第2回定例会が6月14日から6月28日までの15日間開催されました。

今定例会で提案された報告10件、承認6件、議案12件、発議2件、請願・陳情7件を審査しました。そのうち陳情2件を不採択、4件を継続審査とし、他を原案通り承認・可決・採択としました。

1,033万2千円の追加補正予算を可決

今定例会では補正額1,033万2千円を追加し、一般会計183億1,298万5千円となる予算が可決されました。

主な内容は、消防資機材整備事業でラグビーワールドカップ2019開催の警戒等に対応した機械器具費、プレミアム付商品券助成事業、保育所活動推進事業費の幼児教育・保育無償化導入に係るシステム改修費、道路新設改良費の測量設計業務委託料などです。その他、主な補正予算の内容は下記をご覧ください。

補正予算の主な事業

【総務常任委員会関係】

- ・ 湯布院コミュニティ施設管理事業の委託料
(狭霧台園地のトイレ改修工事設計)
- ・ 防犯体制確立事業補助金
(県道鳥越・湯布院線の防犯カメラ6基を設置)

【教育民生常任委員会関係】

- ・ 小学校施設管理事業 (空調施設整備に伴う保安業務)
- ・ 自治公民館等整備補助金 (下市公民館、佐平治自治公民館、岳本自治公民館)

【産業建設常任委員会関係】

- ・ 市道改良工事の次年度以降の補修工事に向けた設計委託料 (中依大南線外)
- ・ 官民連携無電柱化事業の工事負担金 (乙丸津江線)

※担当課より財政健全化を図る一環として、職員の県内出張旅費の減額

その他の主な議案

- ・ 消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

9月議会での決算特別委員会の設置

- ・ 設置の目的 平成30年度決算承認の審査及び調査

議案質疑

専決処分の報告について

(市道長湯庄内湯ノ平線)

問 市道の維持管理などの連絡体制は。

答 各地域整備課と建設課が連携をして行っている。
また、市公式アプリの利用も5月から行っている。

専決処分の報告について

(市道東行田代線)

問 落石注意看板を設置するなど
の注意喚起は。

答 市道について行っている。

平成30年度由布市一般会計 繰越明許費繰越計算書について

問 観光基盤整備事業の繰越理由は。

答 由布院駅周辺整備事業については、地元商店街やJRとの協議が整わなかったため。

問 洪水ハザードマップ作成業務の繰越理由は。

答 現地調査や内容の検討、住民説明会など印刷発効までに所要の期間を要したことによる。また、対象地域には全戸配布を行う。

問 教育費及び幼稚園設備整備事業の繰越理由は。

答 内容は小学校3校と幼稚園2校からの補助金交付決定が平成31年2月となったことにより年度内の完成に至らなかったため。

消費税及び地方消費税の税率 引き上げに伴う関係条例の 整備に関する条例の制定について

問 消費税引き上げが行われなかった時の対応は。

答 国の定めに応じて9月30日までに開かれる議会において対応する。

由布市市道の構造の技術的基準 に関する条例の一部改正について

問 改正の根拠と今後の市道認定との関連は。

答 市内の道路環境と使用状況、気象状況などを考慮して決定した。また、認定基準については見直しも含めて慎重に検討する。

令和元年度由布市一般会計

補正予算(第2号)

問 消防技術向上事業の補正理由は。

答 早期退職者があり、新規採用者を当初より1名多く採用した。その分の消防学校入校負担金が必要となったため。

問 小学校施設管理事業の補正理由は。

答 小学校2校の空調設備設置工事における設計結果に伴い高圧受電設備の設置を行わなければならないため。

問 文化財保存継承推進事業の補正理由は。

答 国指定重要文化財旧日野病院の消防設備に不備があり早急な修繕が必要だったため。



常任委員会報告

総務常任委員会

専決処分の承認
「由布市税条例等の一部を改正する条例」

現下の社会情勢等を踏まえ、経済の好循環をより確かなものとする観点から、地方税法の改正が行われたことによるもので、緊急を要したことから、専決処分を行った。

全員一致で承認すべきと決定

専決処分の承認
「由布市税特別措置条例の一部を改正する条例」

平成31年3月31日に適用期限を迎える、山村振興法等に基づく省令が、国税の特例措置等を踏まえ、期限の延長が行われたことによるもので、緊急を要したことから、専決処分を行ったもの。

全員一致で承認すべきと決定

消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

各施設の使用料等について、消費税

法及び地方税の改正により、消費税及び地方消費税の税率が、令和元年10月1日に、8%から10%へ引き上げられることを考慮し、消費税等相当額の適切な転嫁を図るため、関係条例の整備を行うもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市地域活性化拠点施設条例の一部改正について

おおつる交流センターの施設使用料について、消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることに伴い、消費税等相当額の転嫁を図ることと使用料の見直しを行うもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市消防手数料条例の一部改正について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されたことに伴い、手数料の改正を行うもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市火災予防条例の一部改正について

不正競争防止法等の一部を改正する法律においては、「日本工業規格」を「日本産業規格」に改めるもの。また

スプリングラーの「作業時間60秒以内」を「種別が1種」に改正するものである。尚、火災報知機について技術上の基準に従い。また技術上の基準の例により設置したときにおける条例改正を行うもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

令和元年度由布市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1,033万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ183億1,298万5千円とするもの。本委員会に係る主なものは、歳入ではマイナンバー情報連携体制整備事業費補助金30万9千円、消防費補助金でラクビーワールドカップ2019に対する消防緊急体制整備事業費補助金として、258万4千円である。歳出では、湯布院コミュニティ施設管理事業の委託料で狭霧台園地トイレ改修工事設計委託料46万5千円、防犯体制確立事業補助金80万円は、県道鳥越・湯布院線(通称平成通り)に延長270mに渡り防犯カメラ6基を設置するもの。また消防資機材整備事業でラクビーワールドカップ2019開催の警戒等に対応した機材器具費258万5千円が主なもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

教育民生常任委員会

専決処分の承認
「平成31年度由布市一般会計補正予算(第1号)」

消費税増税に伴う介護保険法の改正による低所得者の保険料軽減に係る補正予算を求めるもので緊急を要したため専決処分を行った。

全員一致で承認すべきと決定

専決処分の承認
「由布市介護保険条例の一部を改正する条例について」

介護保険法施行令の一部改正に伴い改正を行うもので低所得者の保険料負担軽減を消費税率の引き上げに伴い更に軽減するもの。

全員一致で承認すべきと決定

専決処分の承認
「平成31年度由布市介護保険特別会計補正予算(第1号)」

消費税増税に伴う介護保険法の改正による低所得者の保険料に係る補正予算であり歳入保険料2,557万円を減額し、繰入金2,557万円を増額するもので緊急を要したため専決処分を行った。

全員一致で承認すべきと決定

専決処分承認

「由布市国民健康保険条例の一部を改正する条例」

平成31年度税制改正に伴う国民健康保険税の課税限度額の引き上げ並びに低所得者に係る国民健康保険税の軽減判定所得の見直しであり緊急を要したため専決処分を行った。

全員一致で承認すべきと決定

由布市湯布院健康温泉館条例の一部改正について

消費税法及び地方税の改正により相対当分の転嫁を図ること並びに記載の変更を行うもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

法律施行令の改正に伴い据置期間経過後の利率を1%とし、償還方法に月賦償還を追加。

保証人を立てることの条件は削除する。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市立学校施設等の管理に関する条例の一部改正について

消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることに伴い、消費税相当額の転嫁を図ること、並びに阿蘇野小学校を西庄内小学校に統合したことによるもの。

全員一致で原案可決すべきと決定

令和元年度由布市一般会計補正予算(第2号)

歳入の主なものとして民生費国庫補助金931万4千円は、プレミアム付商品券事務補助金、歳入の主なものとして保育所活動推進事業費275万4千円は幼児教育、保育無償化に係るシステム改修費、小学校施設管理事業290万円は空調施設整備に伴う安全業務委託費。

委員会として自治公民館整備補助金について完了確認をするよう、またシステム改修については適正な価格判断チェックをするよう意見を付した。

全員一致で原案可決すべきと決定

令和元年度由布市介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ6万円を減額し、総額を42億8,704万2千円とするもの。

旅費の減額20万3千円は介護報酬改定に伴うシステム改修事業費。

全員一致で原案可決すべきと決定

産業建設常任委員会

由布市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

由布市大分環境衛生組合における一般廃棄物処理手数料について、消費税法及び地方税法の改正により、消費税等相当額の転嫁を図るために改正を行うもの。

*尿及び浄化槽汚泥、並びにそれ以外の廃棄物の処理手数料の改正も行う。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について

道路法及び道路構造令に基づき由布市市道の構造の技術的基準等の一部改正するもの。

縦断勾配の数値12%を15%に変更し、急斜面地での道路整備を可能とする、車の通行が可能となり、日常生活、防災機能の観点で住民の利便性が図れる。

全員一致で原案可決すべきと決定

由布市簡易水道事業給水条例の一部改正について

消費税法及び地方税法の改正により

り、消費税等相当額の転嫁を図る。今回、下湯平簡易水道が湯平簡易水道と統合を行うと説明を受けた。

全員一致で原案可決すべきと決定

令和元年度由布市一般会計補正予算(第2号)

歳入では土木費国庫補助金における社会資本整備総合交付金3,238万4千円の減額は内示額の決定に伴うもの。

歳出では、市道筒口線橋梁架け替え工事に伴う隣接建物等損傷事案発生時対応調査費500万円、市道中依大南線外改良工事補修設計委託費700万円、乙丸津江線における官民連帯無電柱化事業工事費999万9千円

全員一致で原案可決すべきと決定



一般質問 市政を問う

●一般質問は質疑答弁を含めて一人1時間以内です。

- 加藤 幸雄 議員……………園児、児童の安心・安全な登下校の見守り対策について
由布市の財政について
児童の表彰制度基準について

- 佐藤 孝昭 議員……………由布市の地域まちづくりについて（庄内・阿蘇野地域の課題）

- 田中真理子 議員……………任期満了に伴う民生委員の選考と負担軽減策について
学校における安全対策について
由布市役所挟間庁舎の改修について

- 甲斐 裕一 議員……………由布川溪谷の再復興について
集落営農の経営促進について

- 佐藤 人巳 議員……………区と区の行政上の統合について
市道の登記の進捗状況は
大分県のヘソの位置にある地区の開発は
中山間直接支払制度の継続は

- 長谷川建策 議員……………湯布院複合庁舎や街なみの利便性と安全面について花の木通り商店街からの要望
防災行政無線について伺う
川崎の児童殺傷事件の報道を受けて

- 鷺野 弘一 議員……………山林伐採、搬出について道路の保全確認と作業道防災確認について
公共施設の安全対策について
大分銀行小野屋支店出張所を庄内庁舎内（駐車場を含む）に誘致できないか

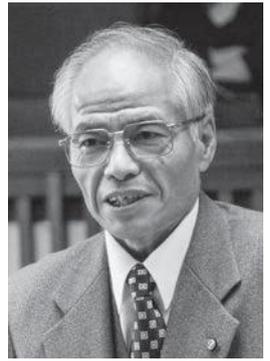
- 坂本 光広 議員……………県外からの移住者について
市営住宅について
ユーバスについて

- 加藤 裕三 議員……………市内山林の管理、保全、景観及び防災対策について
スポーツ施設及び廃校施設の活用について
市職員のモチベーション維持について

- 田中 廣幸 議員……………由布市の農業振興について
「陣屋の村」の活用について
市内中学生の登校について

- 太田洋一郎 議員……………ごみ処理の今後と取り組みは
どうする8050問題

- 高田 龍也 議員……………由布市の防災対策について
由布市の農政事業について



加藤 幸雄議員

園児・児童の安心・安全な登下校の見守り対策について

問 園児・児童が巻き込まれる事件、事故が発生しているが由布市としての予防対策は。

答 (教育長) 先日の悲惨な事件、事故をうけ全ての幼稚園、小中学校に対し、園児、児童、生徒に対し安全指導の徹底と、通学路の場所や人数、地元の方の協力状況等の現地調査を行い、通学路における見守り強化の指示をいたしました。

これからの由布市を担う子供たちです、安心安全に通学できる道路等の整備を含めよろしく願います。

由布市の財政について

問 入湯税は昔、旅館組合で集金をしていました。この方法に変えようという気持ちはありますか。

答 (税務課長) 納税貯蓄組合は困難かと思えます。違った形で旅館組合が活用できる方法を検討委員会の中で考えていきます。

児童の表彰制度基準について

問 児童が各種大会等で好成绩を収めた場合の市としての表彰基準は。

答 (教育長) 「児童の表彰制度」について、表彰された児童・生徒の垂れ幕は、はさま未来館の懸垂幕掲揚設備で行います。九州大会以上の大会出場者です。

また、市報掲載に関する明確な基準は設けておりません。

問 子育てをするときは誉めて伸ばすと言われます。何らかの形でお知らせすると子供たちも頑張ってくれると思います。それが、由布市の財産にもなるわけですから表彰できる形を作ってください。

答 (教育長) 各学校で児童、生徒の頑張りをいろんな機会を通じて、市報等に載せて市民の皆さんにお知らせする取り組みを考えていきます。



佐藤 孝昭議員

由布市の地域まちづくりについて(庄内・阿蘇野地域の課題)

問 高齢に伴う免許証の返納支援で公共交通機関の代金助成を一部しているが、狭間の医大近辺の方と庄内の駅までタクシード片道6,000円程かかる。阿蘇野地区の助成が公共交通網も充実していないのと同じなのはどうか。

答 (総合政策課長) 地域性や地形によって状況が違うのは分かるが、基準や線引きが難しく、現況どの地域も一律の補助券となっております。

問 阿蘇野地域にある、JAの販売店とガソリンスタンド、さらに郵便ポストを廃止、統合、撤去の申出があり困っているが、市は把握しているか。

答 (市長) 市は把握していません。そういった協議についても市としても全体的な地域づくりの観点から話し合いを持つ必要があると思っています。

問 由布コミュニティ事業の取組実績と自治区数と今年の応募数は。

答 (市長) 平成30年度末までで32団66自治区が実施しました。今年

度は現在のところ応募した団体はありません。事業の継続性が課題です。

問 地域の活性と諸問題解決の事業のほすが、補助金をもらえる期間だけの単発事業で終わっていないか。取り組みの検証、成果発表会など行ったのか。

答 (総合政策課長) 何自治区、何団体かは精力的に今も継続している。ただ補助金期間が過ぎての継続が問題で、他の補助事業で継続しているところもあります。発表会等は以前開催していましたが、この事業では現在はありません。

由布コミュニティ事業の継続を他の補助事業での継続ありきで行うのはどうか。この事業の中で結果・結論を出し、しっかり精査して今後の事業を考えてほしい。

その他、「市の職員の公務員給与について」「市のマイクロバス運行管理規程について」「県議会議員選挙の投票率向上について」「ドクターヘリポートの整備」「阿蘇野地域との公共交通計画」について質問しました。





田中真理子議員

**任期満了に伴う民生委員の
選考と負担軽減策について**

問 なり手不足解消の対策、役割負担軽減についてこれまで検討したことは。

答 (市長) なり手不足解消として、民生委員の年齢を75歳まで推薦できるようにした。また、自治区毎に福祉推進委員を委嘱し、民生委員の負担軽減を図っている。

問 自治委員が民生委員の人選が困難で選出できないと言っている。

答 (福祉事務所長兼福祉課長) 自治区によっては輪番制や福祉推進委員、担当する自治区で相談し選出するなど各自治区によって様々な選出方法があるようにある。

問 民生委員の選出は3年に1度であるが、早目に役割等について十分な説明と情報を共有した方が良いのでは。

答 (福祉事務所長兼福祉課長) 各地区の状況や情報を共有することも大事なことだと考えている。社会福祉協議会とも協力しながら自治委員との

共有を図りたい。

学校における安全対策について

問 県の通知を受けてどう対応されたか。

答 (教育長) 県の教育委員会の通知を受けて、危機管理マニュアルを基に通学における安全対策を再度確認するよう指導した。通学路における見守り場所や人数、地元の協力状況等現況調査を行い、見守り強化を指示した。

問 小中学生の教材等の重量について、検討されたことはあるか。

答 (教育長) 文部科学省の通知を受け、学校に置くもの、持ち帰らせるものを学校毎に工夫し取り組んでいる。

**由布市役所挟間庁舎の
改修について**

問 公共施設管理計画では、今年度までに大規模改修の計画が盛り込まれているが、今後の方向性は。

答 (市長) 挟間庁舎は、挟間地域の中核をなす行政施設。今年度中に劣化診断を行い、施設の状態を調査し改修の時期、規模などを検討していく。



甲斐 裕一議員

「ずくとまえから、住んじよったけんど、こげんこつになったこつはいっぺんもなかつた」

Ⅱ防災パトロールでの被災者の声
災害はいつやってくるのではなく、災害はそこに来ているをモットーに常、日頃からの防災に努めたいものです。

由布川溪谷の再復興について

問 現在、入谷口の調査を終え、測量に入ると聞かすが、今後の工程はどのような状況なのか、またルートはどのようになるのか。

答 (市長) 工事の工程としては、今年度11月に工事着工の完成を来年夏ごろの完成を見込んでいます。

答 (挟間振興局長) 入谷口への新ルートは、猿渡の駐車場から80メートル入った箇所から、さらに130メートル進み、階段となる。階段については、フリーステップ型式を採用する。尚、1ヶ所に展望台を設けることを考えている。

問 周辺の環境整備として木々の伐採、草切等が観光協会も高齢化進んでおり、作業が大変と聞かすがこれに何等かの助成はできないか。また周辺の道路整備をお願いしたいがその対応はできないか。

答 (商工観光課長) 周辺の環境整備については観光協会と共に整備をしていきたい。

答 (建設課長) 道路整備については、今後状況を把握しながら対応していきたい。

集落営農の経営促進について

問 高齢化が進む集落営農の継続・継承をどのように促進していくこととしているのか。特に オペレーターの確保が大変と聞かすがどのように考えているのか。

答 (農政課長) 集落営農の存続等については、組織の連帯を図りながら、オペレーターの調整並びに連帯を通じて、相互のネットワークの構築が必要と考えている。





佐藤 人已議員

区への行政上の統合について

問 小さな区の維持ができなくなっているが、こうした問題について市としてどう向き合っていくのか。

答 (市長) 人口減少・少子化・高齢化・過疎化の進展をうけ小規模自治区は活動や組織の維持に苦慮されている事は十分承知をしています。自治区再編の取り組みは、行政主導型と住民主導型とがあるが、あくまで住民皆様方のイニシアティブをいただく中で検討したい。また、近隣自治区との交流・振興を深めながら議論を重ねていきたい。

市道の登記の進捗状況は

問 登記をしていない路線はどの位あるのか。

答 (市長) 約500路線ある。現在嘱託職員を2名雇用し解決に努力している。

問 固定資産税はどうなっているか。

答 (市長) 旧町時代のものもあり十分把握できていない。



大分県のヘソの位置にある地区の開発は

問 □ノ原の花見の名所である展望台の整備は

答 (市長) 展望台の整備を含め、市民の皆さんの憩いの場となるよう維持管理に努めて参ります。

中山間直接支払制度の継続は

問 令和元年度で第4期対策が終了するが第5期として継続することを前提に事務を進めているか。

答 (市長) 由布市としても中山間地域における農用地を維持管理していくためにも当然継続する必要があると考える。



長谷川建策議員

新潟で震度6強の地震がありました。大分、熊本地震を思い出し、いつくるかわからない災害に備えなければいけないと思います。心より御見舞い申し上げます。

湯布院複合庁舎や街なみの利便性と安全面について花の木商店街からの要望

問 商店街を取り巻く環境の変化として、現在、空き店舗であった場所が売却されました。以前、由布市に提言致しました花の木プラザの市への無償譲渡が財政的に不可能であった。一階の部分を車両も通行できる通路として確保していただきたく市にお願いしたい。また、地震により破損した公衆トイレの浄化槽の改修費用の支援、花の木通りが小学校の通学路となっていることも踏まえた安全対策、子ども達を守る為ドライバーに分かりやすいスクールゾーンの標識の設置をしてほしい。

答 (市長) 花の木プラザの一階部分を車両が通行できる通路にするための改修支援については、現在のところ計画はしていない。トイレの浄化槽改修は現在計画しているところ。今後も創業時に必要な費用を助成する創業支援事業や商

店街等賑わい創出支援事業など商店街支援に継続して取り組んでいきたい。

答 (教育長) スクールゾーンは学校を中心とした半径5百メートル程度の通学路が対象であり、通学中の子どもの安全を確保する対策として有効である。職員が現地調査を行い対応を検討する。

防災行政無線について伺う

問 防災行政無線がなぜ廃止なのか？

答 (市長) 平成17年に無線通信規則の改正で湯布院の無線は令和4年以降適合しない状況。現在、民間の携帯電話会社の電波網を活用した新たな防災情報告知システムの由布市全域への導入を検討。防災ラジオを含めた情報告知の多重化、多様化が可能となるため、災害時の市民の皆様の安全確保・早期避難に繋げていく。

川崎の児童殺傷事件の報道を受けて

問 子供たちを守るには、どうするか、学校に防犯カメラの設置等の必要性は。

答 (市長) 学校の体制をしっかりとし、十分検討し設置できるか検討する。

最後に毎朝登校時に、パトカーで見守ってくれる湯布院交番の皆様へ感謝申し上げます。



鷺野 弘一議員

山林伐採、搬出について道路の保全確認と作業道防災確認について

問 伐採・搬出業者、関係する地元住民と市職員による立ち合いは行っているか。また、重機の移動する作業道における2次災害防止の対策は行っているか。

答 (農政課長) 伐採届を出しに窓口に来られる際に注意喚起を行い、作業終了時に自治委員、周辺の方の立ち合いを行うよう指導を行っています。また、今年4月より農政課でチェックシートを作成し、6つの項目について業者に確認をしております。作業道については、市に届出は出ていません。業者が1週間に1回見回りをしていると報告がありました。

公共施設の安全対策について

問 夜間使用時における照明施設は万全か。

答 (市長) 公共施設つきまして、個別計画等をあわせて調査した結果、不具合と思われる施設が幾つかありました。改善に向け検討しています。

答 (庄内振興局長) 庄内庁舎において夜間会議や時間延長窓口を設置する際は出口に照明を必ず点灯している

ますが、警備担当者に確認の徹底を行います。駐車場の花壇前の輪留めブロックの設置については事故防止に努めたいと思います。

答 (副市長) 具体的な対応については予算編成過程で検討したいと思っています。

問 新庄内公民館会議室内での食事が出来ないと言いが、1日会議をする利用者に対し不便ではないか、禁止の理由は。

答 (教育長) 利用者の利便性を考え、食事だけではなく施設の不具合を検討、改善しています。会議室の食事については、汚れる、匂いがこもると言った意見で禁止していました。

大分銀行小野屋支店出張所を庄内庁舎内(駐車場を含む)に誘致できないか。

問 不便で有るとの声が寄せられるが市の考えは。前市長は誘致の考えがあったと聞か

答 (市長) 大分銀行は現在効率的店舗の問い合わせは随時行っています。が、正式な文章等による要請は行っていません。前市長は誘致の考えはありましたが、当時も1金融機関だけを入れることは難しいという検討結果となりました。

その他、コミュニティバスの改善、国道210号渋滞解消計画について質問しました。



坂本 光広議員

県外からの移住者について

問 平成30年度由布市の県外からの移住者149人の内訳を教えてください。また、今後の取り組みは？

答 (市長) 挾間地域76名、庄内地域14名、湯布院地域59名となっております。移住後の職業については、把握できていないものとして、農業従事者が1名、創業希望者が3名、会社等への就業が3名です。今後の取り組みとしては、県外での移住相談会へ参加し、移住支援制度の説明、面談を行ってきたいと考えています。また、空き家バンク制度を運用した住まいの確保、地域おこし協力隊制度等を活用していきたいと考えております。

問 庄内地域の移住者が少ないが、農業を中心としたファーマーズスクールの現状と今後について教えてください。

答 (農政課長) 平成30年度3名、31年度は2名の方が受講されています。指導員については6名の方が登録されています。農協並びに関係機関を通じ積極的に御協力いただける指導者を増やして、強化していきたいと考えて

ております。

市営住宅について

問 管理が大分県住宅公社に変わったがメリットは出そうでしょうか？また、修繕等を効率よくできないでしょうか

答 (市長) 現在、建設課内に県住宅供給公社の3名の職員が常駐しており、迅速な対応ができています。と感じております。修繕については、当該住宅の空室状況や入居申し込み状況等を考慮した上で行うこととしています。

ユーバスについて

問 ユーバスの時刻改正がされましたが市民の皆様の声を反映でき了吗か？阿蘇野線において農協の阿蘇野支所が閉鎖の方向で進んでいます、ユーバスの変更はどうですか？

答 (市長) ユーバスの時刻等については、市民の皆様の要望に応じて改正等行っています。農協阿蘇野支所の閉鎖の情報は正式には入っていないので情報収集をするように指示しております。状況を見て検討していきたいと思っています。

答 (教育長) スクールバス大津留コースの減便に関しては、現在のところ地域から支障が出ている旨の連絡は入っておりません。



加藤 裕三議員

市内山林の管理、保全、景観及び防災対策について

答 (市長) 人工林の多くが一般的な主伐期を迎えており、平成30年度における伐採の届け出箇所数は475件、規模については313.95haの届け出が出されている。伐採時における裸地の保全については、森林法施行規則の改正により、森林所有者が伐採後、2年以内に植栽すること、また植栽後に造林にかかる森林の状況を報告することになっている。林業への就業については、市独自の対策等は行っていないが、関係各課で研究する。公益財団法人森林ネットが、おおいた林業アカデミーを開催し就業促進を行っている。ソーラー設置計画の現状は、再エネ条例に関する計画件数は9件、そのうち、6件については審議が終了している。省エネ条例に基づき、景観や生活環境の保全、形成に取組んでいる。森林の景観保全等に対しての補助制度等についてはないが研究する。

スポーツ施設及び廃校施設の活用について

答 (市長) 野球場3施設の昨年度利用者数は2万3,223名で、市内スポーツ少年団体育協会加盟団体による主催行事、体育行事、各野球連盟主催行事等で、市外の方も利用している。体育館4施設

は、昨年度5万6,673名で、総合型地域スポーツクラブをはじめ、屋内競技を行う市内体育クラブ、市主催の体育行事や各種大会に多く利用されている。日常的な維持管理は、地元総合型スポーツクラブ、シルバー人材センターへ委託し、専門的な保守点検、受付や監視、警備を伴う業務は、専門の業者へ管理を委託している。スポーツ施設全般の維持管理経費は、約1億2,100万円。廃校後の体育館の利用計画は、現在、大津留小学校と旧湯平小学校並びに旧阿蘇野小学校の体育館は教育委員会が管理をし、市内外の皆さんに利用していただいている。企業等の活用による施設運営は市民の体育振興、クリエイション環境の提供、健康増進、青少年の健全育成を図るため、今後も市で運営を図る。

市職員のモチベーション維持について

維持について

答 (市長) 人員配置や業務量の把握は、各課の組織ヒヤリング、年度当初予算のヒヤリング等で把握し、定期異動により人員配置を行っている。仕事を行う中で、市民の皆さんから信頼をされる、喜んでいただけるというような仕事ができることが職員としては達成感に繋がっていると思う。そういうことがやる気につながり、モチベーションが向上していくと考えている。市民の皆さんからの複雑多様なニーズに答えられる職員として成長するため人材育成計画に基づき、研修に参加し、知識、能力の向上を図っている。また、コンプライアンスハンドブックを作成し、全職員に徹底を図っている。

答 (市長) 市民に何ができるのか、自ら考え、行動をしていくために、自らの成長を目指す職員になるよう、今後も取り組みを進めていく。



田中 廣幸議員

由布市の農業振興について

問 学校給食の食材を地産地消推進事業「ニンジャガプロジェクト」を行なっているが目標とする数値に進んでいるか。

答 (市長) 使用量の多い野菜6品目を特定品とし、圃場面積約45アール農家12戸が協力目標値(米含む)30%に対し21%(平成30年度)となっている。

答 (農政課長) 今後は1ha〜1.2haの面積が必要であり、指導員2名で市内巡回し、農家との連携を密にしたい。

問 市内の農・畜・園芸などの農業生産部会は地域のイベントや祭りなどに参加しPR活動などを行なっている。振興策として交流会を含め組織の一本化はできないか。

答 (市長) 市内の生産部会については、JAが中心となり指導及び管理を行なっているが、交流事業等については、今後JAなどの関係者と協議を進めて行きたい。

「陣屋の村」の活用について

問 活用事業計画策を募集とのこと

その後2件のご提案があったようだが「歴史民俗資料館」の運営を含めどういう状況なのか。

答 (市長) 募集の結果1件目は、山荘を活用した里山づくり。2件目は子育て環境事業次世代育成、地域社会再成事業を総合的に行うなどの事業計画があり今後検討し地元地区や自治委員会などに説明していき決定したい。

答 (教育長) 歴史資料館は土日だけの開館で貴重な資料等もあり由布市の中で唯一の資料館という位置づけだが、今後の「陣屋の村」全体の利用計画との絡みもあり、市民の皆さんが立ち寄りやすいよう検討してまいります。

市内中学生の登校について

問 自転車通学で不安な点や通学カバンの重量による健康面について

答 (教育長) 市内3中学校ともに自転車事故等は起きていない安全指導等も行なっている。自転車安全保険があるが100%加入とはなっていない状況です。また、通学カバンの重量についてのアンケートにより、10kgを超すような場合もあり、腰痛や首回りが痛むという回答もありました。子どもにとって無理のないよう指導していきたいと考えている。

その他、挟間子どもルーム、利用増加による市の対応について質問しました。



太田洋一郎議員

ごみ処理の今後と取り組みは

問 現在稼働している福宗清掃センターの老朽化で建て替えが計画されているが、建設候補地が現在地より遠方になることにより、運搬等の様々な経費の増額に伴い、市財政負担やごみ袋、事務所の収集費等の増額が推測される、具体的な対策は考えているか。

答 (市長) 新環境センターについては、現在、大分市2ヶ所、臼杵市1ヶ所の3候補地が検討されており、大分市、由布市を含む広域6市により令和9年度稼働に向け準備が進められている。今年度から豊かで美しい由布の環境連絡協議会を開催し、ごみの減量化、プラスチックの削減対策の議論を進める。

問 具体的な減量化策を早急に、市民への意識付けも含め取り組んでもらいたい。

答 (環境課長) 環境連絡協議会への参加団体を増やし、プラスチックゴミ、食品ロスの削減等、積極的に取り組む。

どうする8050問題

問 内閣府の試算によると、引きこもり人口が全国で100万人と伝えられ、40歳以上の引きこもりの人数が61万人となり、8050問題として対応を求められているが、由布市はどのような対応をしているか。

答 (市長) 地区の民生委員、市設置の総合相談窓口、関係課、社会福祉協議会等で相談に対応しており、相談者の状況に応じて関係機関が連携をとって支援している。今後も相談窓口の周知、より充実した個別支援体制に努めていく。

問 きめ細やかに親切丁寧な対応で、支援に向けた様々なネットワークと繋いで解決に向けて取り組んでほしい。

答 (福祉事務所長兼福祉課長) 当市では相談しにくいケースもあり、大分県の相談窓口や家族会の相談窓口等、様々な選択肢があることも情報発信も含め取り組む。

*その他、メガソーラー開発計画やPFI・PPPの取り組みについて質問しました。



高田 龍也議員

由布市の防災対策について

問 大規模災害時における、行政・行政職員との連携体制はどのようになっているか伺う。

答 (市長) 5月に組織体制の機能確認や各部署相互の連携強化などを目的として、状況付与型の職員防災訓練を実施。災害応急対策・災害復旧のための広域相互応援については、大分県や県内の市町村、消防との災害時応援協定を締結しており、必要な職員の派遣や物資の提供等について、支援をいただく体制を整備しているところであります。

問 職員防災ハンドブックに従って、水・食料計15kgを背負って、湯布院から徒歩にて本庁舎に登庁してみたが、庄内町在住以外の職員の登庁は難しいと思うが。

答 (防災安全課長) 緊急初動体制として、早期参集した職員から、情報収集・関係機関との連絡調整、災害対策本部をかくりつするため初動対応を行うと計画しています。

答 (市長) 連絡が取れないということころまでは想定していないが、無

線で連絡が取れるようにシステムを構築しています。

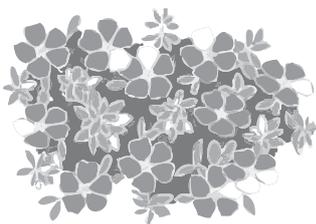
由布市の農政事業について

問 由布市総合計画重点戦略プランにおける「農あるくらし」仕事づくり事業について、具体的な取組状況を伺う。

答 (市長) 具体的な取組状況としては、高齢化や担い手不足が深刻化する中集落営農組織の育成、法人化を積極的に進めています。

問 「農あるくらし」中の「コミュニティビジネス」を活用し、ふるさと納税制度の商品発送業務・納税証明発行業務等を阿蘇野地域、廃校となった阿蘇野小学校にて行うことは出来ないか。

答 大変良い考え方ではないかと思いますが、現実的にそれができるかどうかは別として、そういう考え方はあると思います。



議会研修報告

議会活性化調査特別委員会が主体となり、令和元年6月28日に由布市議会基本条例をテーマとした研修を行いました。

【研修内容】

1. 由布市議会基本条例の確認
制定の目的、議員活動を行う上での条文の確認
2. 由布市議会基本条例の今後について
条例の目的を達成するための評価、考察の方法、全国の議会基本条例の直近の事例などを確認



講師：第一法規株式会社 鳴瀬 正芳氏

～議会活性化委員会より～



議会活性化調査特別委員長
澁野 けさ子 議員

平成31年3月定例会で再編成された特別委員会では、議会活性化に向け各委員より前向きで活発な意見が沢山出ています。早急に取り組む案件、中長期的に取り組む案件を組み立てながら、積極的に実施しています。特に議員派遣研修のあり方と議員定数・報酬の状況は早急に協議致しております。

また、平成26年に制定した「由布市議会基本条例」では、第25条に「議会は、この条例の目的が達成されているかを常に評価及び考察し、市民が議会を通じてその意思を市政に反映できるよう不断の検証をしなければならない。」とあります。そこで6月28日に全議員で研修を行いました。

条例の確認や今後について第一法規株式会社鳴瀬様より講習を受け、今後検証して参ります。また、これからも各種研修を企画し、議会活性化に繋げてまいります。

第72回 大分県民体育大会 議員ソフトボール競技



2回戦

由布市 別府市

15 × 12

場所：大分市日岡公園グラウンド

準々決勝

由布市 佐伯市

9 × 11

場所：大分市舞鶴球場



総合監督 佐藤 人己 議員

令和元年6月22日県民体育大会で議員ソフトボールに出場しました。過去10年勝利することが出来ず無念さは最高に達していました。

今回は7人の新人が入りメンバーも若くなり議長を筆頭に一致団結し、「今年こそ一勝」を合言葉に取り組みました。その結果、初戦別府市と対戦し15対12で勝利、準々決勝は佐伯市と対戦し惜しくも負けましたが、精一杯戦うことが出来ました。これも一重に、練習や練習試合に協力して頂いた皆様のおかげです。

又、暑さの中精一杯応援をしていただきました皆様方に、監督として心より感謝とお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

由布大分環境衛生組合議会報告

令和元年第1回由布大分環境衛生組合議会臨時会 日時／令和元年5月28日 午前10時15分

■事件及び審議結果

●議案第4号 監査委員の選任について

大分市議会選出議員が失職したことにより、議員から選出される監査委員の欠員が生じたため議会からの推薦を頂き、甲斐高之議員の選任することの同意を求めるもの。
慎重審議の結果、全員の賛成で可決。

由布大分環境衛生組合議会議長 工藤安雄

■令和元年第2回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願	(H30)14 市道編入に関する請願について	小原自治委員 末松 龍彦	継続審査
	(H30)15 市道編入に関する請願について	小原自治委員 末松 龍彦	継続審査
	(H30)16 市道編入に関する請願について	小原自治委員 末松 龍彦	継続審査
	(R1)1 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	大分県教職員組合由布市部 執行委員長 坂本 博之	採 択
陳情	(H29)8 私達は、市に対して、本件土地の売買契約書中の契約解除条項を誠実に履行することを求めます。	共進会跡地のメガソーラー建設に 反対する会 代表 江藤 和子	継続審査
	(R1)2 「有償自家用運送」で、シャトルコースの費用対効果を上げ、沿線住民の暮らしを便利にしてください	谷 千鶴	不採択
	(R1)3 由布市第2次総合計画・重点戦略プランに定められた「有償自家用運送」を湯布院で実証実験してください	もっと便利なコミュニティバスを考える会 代表 有馬 義二 外1名	不採択

編集後記

先日(4月)友人より「どこか蚕の飼育している人知りませんか？」と相談があり案内はしたのですが、昔我が家も養蚕をしており、桑の葉取りから「繭取り」「選別」「出荷」まで家族で行っていたのを思い出しました。

蚕は繭を作るまで四回脱皮をします。脱皮をするごとに、一令二令と言いつつ四令ともなると農家は忙しです。蚕が桑の葉を食べる音もにぎやかで、繭をかける風景は見事でした。

繭から絹糸ができて織物となり、和服やネクタイとして私たちも利用しております。

歴代皇室においても、養蚕が行われております。今年五月より「令和」となり、私の思いとして蚕となく関係があるような気もします。

いよいよ新しい時代の幕開けです。未来へ向け、希望もてる日本であってほしいと思います。どうか大きな災害が起きませんように…。

田中 廣幸

議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 幸雄
副委員長 佐藤 孝昭
委員 田中 真理子
加藤 平 鷲 田 佐藤 幸雄
中藤 松野 中 藤 孝昭
廣裕 恵弘 高 吉
幸三 美一 田 村
益則



このQRコードは市議会のホームページにつながります。